



令和6年度

2月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和7年1月31日



三大幼 HP は
こちらから



わくわくがあふれる園庭に

園長 安田 徳章

「大変だ！すいすい池の水がなくなっている！」というこどもたちの気づきをきっかけに、どうすれば池の水がなくならないのかを考えて、池の中に(防水)シートを張ることにしました。こどもたちは、池の中に生き物の卵があったらかわいそう、という気持ちを表し、池の底にあった土を一度取り出して、シートを敷いてからその土を池の中や周りに戻す作業を一生懸命行いました。

今年度は、「とうきょう すくわくプログラム」の事業を活用して、こどもたちが主体となって取り組むことを大切に園庭改造を少しずつ進めてきました。身近な自然に触れる活動を通して、こどもたちが様々に「気づき・感じて・考える」体験をたっぷりとしてほしいと願って取り組んでいます。

そして先日、その取り組みの一環としてお願いをした花壇の改修工事を行ってくれる区内の造園業者から、樹木の台をいただきました。他の所で造園作業をして手に入った大きな樹の幹を、こどもたちが使いやすい高さにして、わざわざ届けに来てくださったのです。「廃棄されてしまうものなので、こどもたちが喜んでくれるのなら」と言ってくださり、加工も運搬もかなりの労力をかけていただいて、プレゼントしてくれたのです。幼稚園を取り巻く様々な方のお力をいただき、第三大島幼稚園のこどもたちは感性を豊かに、そして、探究を深めて、わくわくがあふれる体験を積み重ねられています。

もうすぐ2月。新しい土を入れた土山では、霜柱がみられています。この時期ならではの自然事象にも出合える園庭は、こどもたちにたくさんのわくわくを届けてくれています。



今月の指導のポイント



年中りんご組

こどもたちは、劇遊び・楽器遊び・歌などの様々な表現遊びを通して、自分なりに表現する楽しさや学級の友達と一緒にやる楽しさを味わい始めています。また、たくさんの人に認められたり褒められたりすることで満足感を味わっています。こども会当日も、日頃こどもたちが楽しんでいることを見ていただけたらと思います。

園庭で育てているそらまめの葉やチューリップの芽が出てきたことを喜んでいきます。引き続き世話をする中で、変化に気付いたり生長を楽しむにしたりできるようにしていきます。

年長児から飼育当番のやり方を教えてもらう引継ぎが始まります。一人一人の幼児が、することが分かり、期待感や意欲をもって取り組めるようにしていきます。

年長にし組

友達と誘い合って、羽根つきやカルタなど、正月遊びを楽しんだり、投げゴマに繰り返し挑戦したりしています。投げゴマでは、諦めずに繰り返し挑戦し、そして自分だけでなく友達が回せたことも喜ぶ姿も見られます。

節分では自分で工夫して鬼のお面を作ったり、年中児や未就園児が楽しく豆まきができるように友達と相談したりしていきます。

幼稚園生活も残り1ヶ月半となりました。小学校との交流をきっかけに、就学への期待が高まっています。修了式に向けての練習や年中児への飼育当番の引継ぎなどが始まり、こどもたちも就学を意識するようになると思います。一人一人が自信をもって力を発揮したり、友達と互いのよさを認め合ったりしながら、遊びや生活を進めていくようにしていきます。